

青年会議所は20歳から40歳という限られた年月でしか活動することができません。あと何年活動することができるかは、入会した年齢で自動的に決まってしまうますが、仮に1年という短い活動期間であっても目的を明確にし、主体的に活動したならば、残り半生に活かせる多くの資産を得ることができるのがJCです。「明るい豊かな社会の実現」に向かい活動する過程において、一緒に切磋琢磨できる仲間との出会い、個々の能力を高めることのできる例会や事業、各種大会におけるセミナーへ参加するチャンスが平等に提供されるのは、やはりJCという枠組みがあるからであり、今後も必要であると考えます。しかし近年の会員減少は、そのようなJC活動を不安定化させる深刻な問題であり、人口減少等、社会的背景も考えると好転することが期待しにくい状況です。このまま恒常化するとLOMの存続のみならず、有効な活動を行い、その効果を地域に住む人たちに還元していくことができなくなります。

今年度55周年という節目を迎えるにあたり、5年、10年さらに先のことを見据えたとき、地域社会から必要とされ、かつJCの良さを全メンバーが享受できる団体であり続けるためには、LOM内外と情報共有しながらメンバー一丸となって会員増強に取り組むのはもちろんのこと、個々の能力向上により組織力をより一層高め、これからの活動基盤を強固なものにしていく必要があると考えます。

私たちはそんな危機感とJayceeであることの利点を常に意識した上で、まだ見ぬ地域の青年に対し発信することができたなら、おのずと当会が選ばれ仲間も増えていくのではないのでしょうか。そして「明るい豊かな社会の実現」に向けまた一歩近づくことができると信じます。